

## 「リーダー」はいらない！？

「リーダー」は誰？

学級や団体等で何らかの活動をする際に、子どもたちはどのように関わり合っていますか。誰がリーダーシップを発揮していますか。「リーダーがいなくて、なかなか集団がまとまらない…」ということはありますか。本号では、集団の関わり、主にリーダーシップについて考えてみたいと思います。

リーダーシップの  
2つの機能

「リーダーシップ」とは、「指導者としての資質・能力・力量。統率力。」をさします（広辞苑より）。では、具体的にどのような働きがあるのでしょうか。

津村俊充・山口真人編『人間関係トレーニング』によると、リーダーシップを集団におけるメンバーの役割行動の観点から捉え、主に次の2つの機能があると説明しています。

### ①課題達成機能（Performance）

…問題を解決するための方法を提示したり、意見を述べたり、まとめたり、指示を出したり、記録をつけたり、時間管理をしたりといった課題解決や目標達成のための働き。

### ②集団維持機能（Maintenance）

…メンバーの参加や発言を促したり、意見を調整したり、気持ちを支えたり、メンバーの緊張を和らげたりして、目標達成とは直接関係なく、集団の友好的な雰囲気を作り出す働き。

リーダーシップは  
共有できる

リーダーの役割を担う特定の個人が①②両方の役割を完璧に果たすことは困難です。しかし、課題の内容に応じて、メンバーそれぞれが特性や能力を生かし、必要なリーダーシップの機能を分かちもつことは可能です。

学校においては、学級等で何らかの活動をする際、子どもたちの言動を①②両方の視点から価値づけることで、新しい発見が得られるかもしれません。例えば、建設的なアイデアを提案するのは誰ですか。上手に意見を調整するのは…。集団のムードを盛り上げるのは…。仲間を励ますのは…。それぞれの役割を認め合うことで、課題解決に力を発揮する子どもも仲間を気遣う子どもも活躍できる機会が増えるのではないのでしょうか。

リーダーはいらない！？いえ、リーダーシップを共有できる集団づくりに挑戦してみませんか！？

社会教育・文化財課のWebサイトで「心の冒険・サマースクール」「AFPY」の取組を御紹介しています。

AFPY の推進

検索

お互いの思いや意図を伝え合う活動を通して、「聞くこと」や「話すこと」の本質を考えよう！

中学校の取組を紹介します。今年度の仕上げの活動としてぜひ御活用ください。

《ねらい》2つのグループで1つの物を作り上げる体験を通して、自分たちのコミュニケーションについて考える。

『“心の橋”をかけよう！』

教科・領域	特別活動（学級活動）	時間	50分程度
準備物	1グループあたり…・紙コップ6個 ・爪楊枝8本 ・ストロー8本 ・A4用紙4枚 ・セロハンテープ 使いたいだけ		
活動の実際 ※留意点	<p>ルール：・2つのグループで、左右対称の1つの橋をつくる。 ・準備されている物資は、セロハンテープ以外は全て使う。 ・交渉人は2人。メモをとってはいけない。</p> <p>活動の流れ： 顔合わせ・説明 3分 10分・・・グループでの相談時間 6分・・・交渉 6分・・・ミーティング 5分・・・交渉 5分・・・ミーティング 4分・・・交渉 4分・・・ミーティング できあがった物を持ち寄り合わせる。 ふりかえり（感想記入）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>2つのグループが互いに見えない別々の場所で半分ずつ橋を作る。グループの交渉人が、それぞれの橋のイメージをお互いに伝え合う。交渉内容をグループに持ち帰り、左右対称となるように調整していく。</p> </div>		
ふりかえり	橋を作る活動の中での、自分たちのコミュニケーションについて考える。 〔合意形成のプロセス 伝達のポイント 聞く技術 伝える技術〕 〔思いを伝えること 自分たちの意志を押し通すこと 等〕		
継続的な活用	・この活動を通してコミュニケーションのあり方について学ぶことができ、そこで学んだことを様々な話し合い活動（学習時や体育祭、文化祭等におけるグループ協議）の中で生かすことができる。		
子どもたちの感想や変容、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の思っていることを正確に読み取ることが大事。</li> <li>自分の思っていることを正確に伝える力が必要。</li> <li>聞いたことを、他の人に的確に伝える力も必要。</li> <li>要点をまとめて説明することが大事。</li> <li>どのようにすれば相手に伝わるかを考えることが大切。</li> <li>聞いたことをしっかり実践することが大切。</li> </ul>		
実践者からのひとこと	活動の難易度は、グループの成長状況に合わせて柔軟に変更することができます（橋の建築資材の名称を変えてみる、交渉人の人数を変える、交渉時間を短くする等…）。体験から得た気づきをその場限りで終わらせず、「あの活動をしたとき、どんなことが大切だと気づいた？」等と、何かにつけて引き合いに出して行くことが、体験を生かすことにつながっていきます。		

（山口市立白石中学校〔現博物館長期体験研修生〕 大木克行先生による実践）

